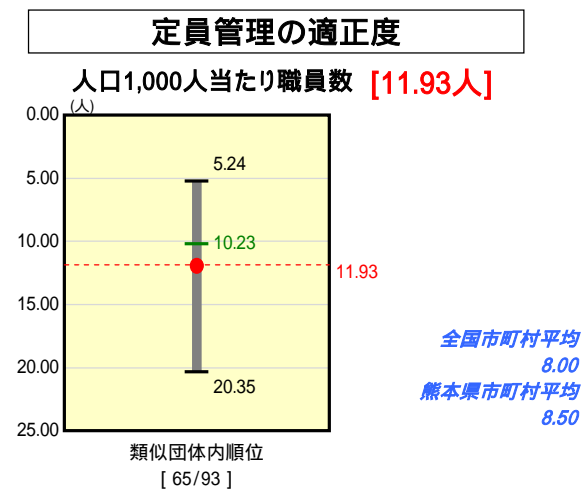
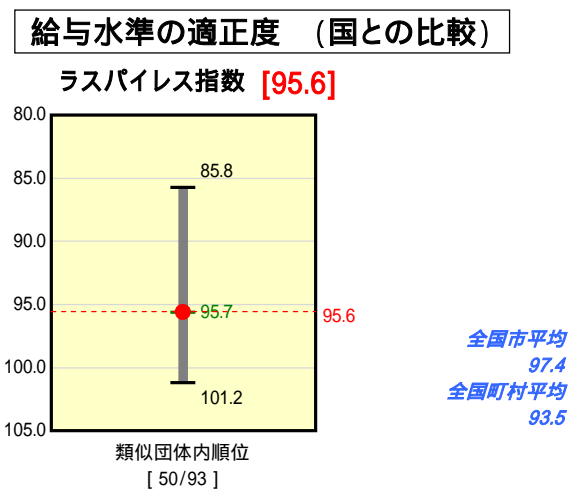
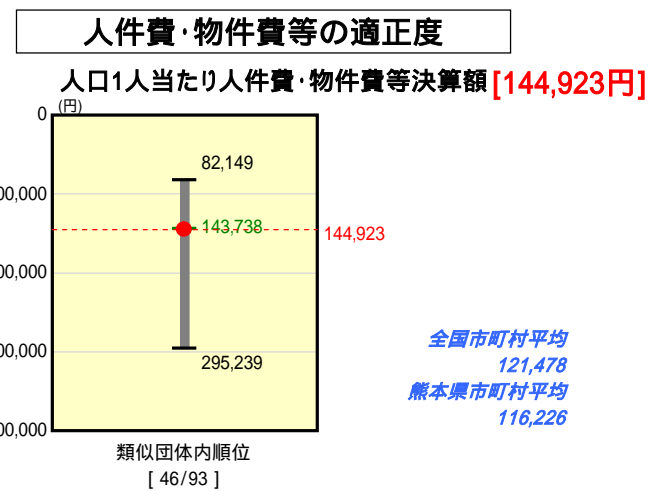
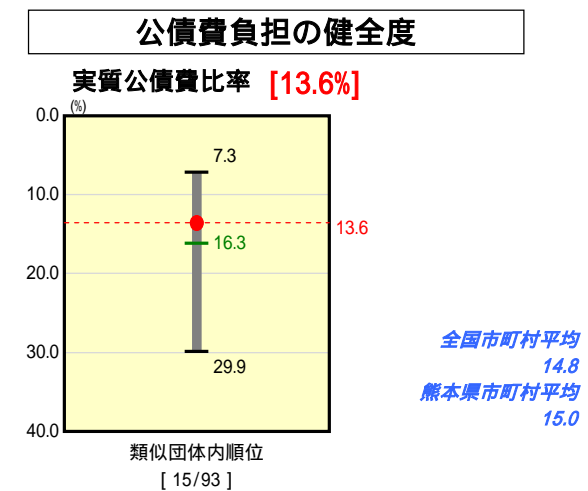
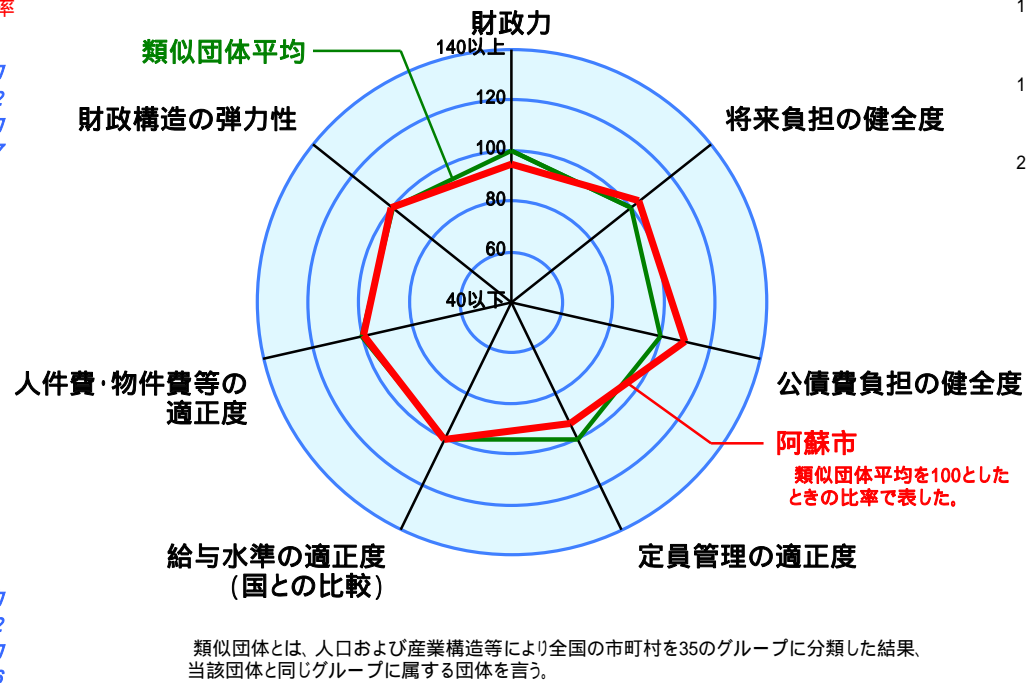
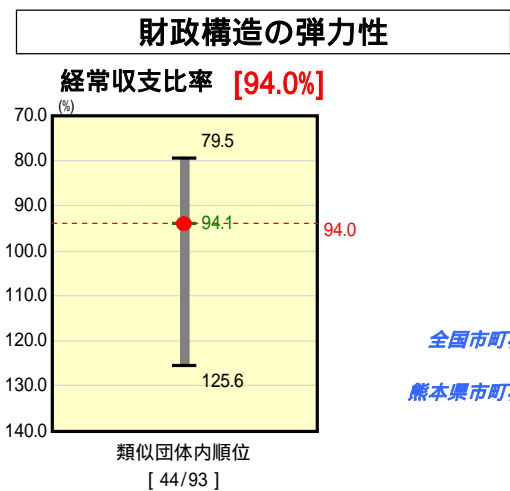
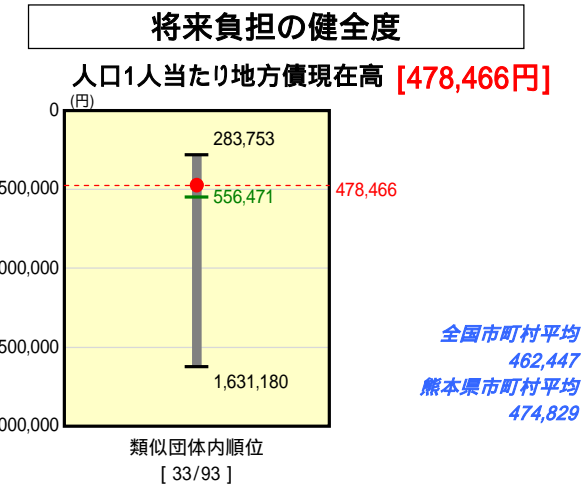
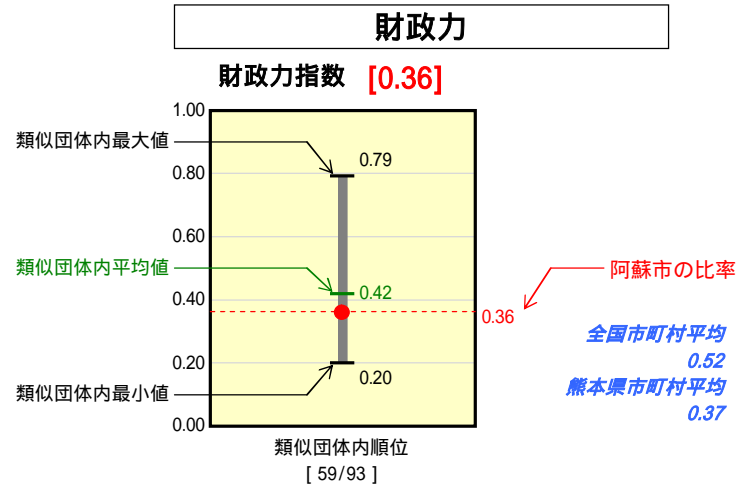


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

熊本県 阿蘇市

人口	30,087	人(H18.3.31現在)
面積	376.25	km ²
歳入総額	14,245,432	千円
歳出総額	13,786,372	千円
実質収支	448,360	千円



分析欄

財政力指数

近年、上昇傾向にはあるものの、今後も引き続き、定員適正化計画に基づき、職員数削減による人件費の削減、経常的経費の削減、投資的経費の抑制等、歳出の徹底的な見直しを実施するとともに、収税の徴収率向上対策を中心とする歳入確保に努める。

経常収支比率

一部事務組合に対する補助費等の増や、民生関係補助金の一般財源化等により、前年度より1.4P増加し、94.0%となっている。今後は、市税の徴収強化等を中心とした自主財源の確保に努めるとともに、歳出面においては、人件費の抑制など義務的経費の削減、経常的経費の徹底的な見直しなどに努める。

ラスパイレース指数

類似団体平均を若干下回っているが、今後は、管理職手当率の削減(現行の課長級8%、課長補佐級6%、病院医療管理職4%を、それぞれ2%、1%、1%とする)、特殊勤務手当の休止等、更なる人件費の削減に努める。

実質公債費比率

類似団体平均を下回っているが、今後も市債の発行については、緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択、償還状況及び市の財政状況を十分に把握し、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

人口1人当たり地方債現在高

類似団体平均を下回っているが、今後も幹線道路整備事業など、新規の起債発行が見込まれる。このことから、他事業における地方債の発行の抑制等により、後世代への負担を少しでも軽減できるように財政の健全化を図る。

人口1,000人当たり職員数

合併後の職員数のため、類似団体平均を上回っているが、今後、組織再編による行政組織のスリム化、勤奨退職の実施及び新規採用の抑制を図りながら、平成22年4月1日時点で合計324人(平成18年4月1日現在職員数比 9.7%)を目指し職員削減に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額

人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たりの金額が類似団体平均を上回っているが、今後、人口1,000人当たり職員数と同様、組織再編による行政組織のスリム化、勤奨退職の実施及び新規採用の抑制を図りながら職員数の削減に努めるとともに、指定管理者制度の導入による管理委託料の削減及び経常的経費の徹底的な削減取組み等を実施していく。